

開催校よりの挨拶

2012年度の関西社会福祉学会年次大会は、2013年3月10日(日)に、関西大学人間健康学部(大阪府堺市)において開催いたします。

今大会の開催にあたり、開催校としての挨拶と案内を申し上げます。

関西大学人間健康学部は2010年4月に堺市浅香山駅前に開設された関西大学126年の歴史の中で最も新しい学部です。本学部には、福祉と健康コースおよびスポーツと健康コースの2つのコースがあります。福祉と健康コースでは、社会福祉士受験資格を取得できるカリキュラムを組むとともに、スポーツのコースとの連携を活かした科目も設定して学生が幅広い視野から学べるようにしています。健康をキーワードに、社会福祉学とスポーツ学との学際的な教育研究に取り組んでいます。

また、キャンパスが立地する堺市との地域連携事業も積極的に展開しており、講演会、調査研究、市民向け講座など、数多く実施しています。

今年度の大会では、「障がい者の社会生活を支える」をメインテーマに、同タイトルのシンポジウムを計画しています。

2006年12月13日、障害者の権利に関する条約が第61回国連総会において採択されました。この条約を批准するためには、国内法の改正整備が必要との認識から、現在、障害者政策の段階的な改革が進行しています。

具体的には、障害者基本法の改正(2012年5月21日に全面施行)、障害者政策委員会の設置(2012年7月23日第1回会合)、障害者虐待の防止、障害者の養護者に対する支援等に関する法律(障害者虐待防止法)の制定(2012年10月1日施行)などです。今後も、障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律(障害者総合支援法)の施行予定(2013年4月1日)、障害者差別禁止法(仮称)の策定予定など、障がい者福祉の大幅な改革が進むことになっています。

このように、障がい者政策の改革が進む現在、本シンポジウムにおいては、障がい福祉の現場での取り組み、施設からの地域移行支援や障がい者の地域生活支援の現状、障がいをもつ当事者からみた政策評価などを取り上げて議論したいと考えています。会員の皆さまにおかれましては、ぜひともふるってご参加いただき、議論を深めていただきたいと思います。

なお、本シンポジウムは市民への公開とする予定で準備をしています。シンポジウムを通じて障がい者政策への理解を市民レベルでも深め、地域での取り組みを発展させていきたいと考えています。

関西大学人間健康学部
学部長 狭間香代子

2012年度 関西社会福祉学会年次大会・
日本社会福祉学会関西地域ブロック総会案内

標記の大会・総会を下記のとおり開催します。会員の皆様におかれましては、ふるってご参加くださいますようお願い申し上げます。

プログラム

- 9:30 受付開始
- 10:00～12:00 自由研究発表
- 12:00～13:00 昼食休憩（昼食は、各自ご準備ください。近所には、コンビニはありますが、食堂等食事のできる場所はあまりありません）
- 13:00～13:45 年次総会
- 13:45～14:00 休憩（会場設営）
- 14:00～16:30 シンポジウム「障がい者の社会生活を支える」
シンポジスト 障がい福祉事業への取り組み：原田徹（ライフサポート協会住吉総合福祉センター館長）
障がい者の地域生活支援：三田優子（大阪府立大学・地域保健学域）
当事者からみた障がい者政策の現在：演者交渉中
指定討論者 北野誠一氏（内閣府障害者政策委員会委員、特定非営利活動法人おさか地域生活支援ネットワーク理事長）
コーディネーター 黒田研二（関西大学人間健康学部）
- 16:45～18:30 情報交換会